

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委員：岡田則之、島田修、反町清
大谷浩一、山本栄治

第1897回

夜間例会

(10月28日)

2004~05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

来訪者のご紹介

- 増淵ものづくり大学助教授
- 行田さくらロータリークラブ
田中清自会長、田邊弘司幹事
細井保雄会員、川辺秀夫会員
永沼督一郎会員、新井啓介会員
坂巻敏夫会員、矢沢大和会員
- 行田青年会議所
今津氏、海野氏、戸塚氏
- 米山奨学生グエン君

会長挨拶 黒淵陽夫 会長



皆さん今晚は。

本日は行田さくらロータリークラブから田中会長様、田邊幹事様他7名の会員の皆様にご出席いただきありがとうございます。有難うございました。

今年は、経験をした事のない猛暑、観測以来の沢山の台風の上陸があり、自然の力の強さを思い知らされていましたが、先週の土曜日の夕刻突然の大きなゆれに見舞われ、大変な災害が発生致しました。

短時間のうちに大きな地震が数回襲い、テレビでは緊急のニュースが報道されました。時間が経つにつれその被害の大きさが明らかになり、1995年1月の阪神大震災以来の大きな被害がでております。

行田市ではこの災害に対していち早く義援金の決定を行い、過日粗大ごみから拾得した3380万円を送る決定をしたそうで新聞・テレビ等で報道されております。

ロータリー関係でもガバナー会で「台風23号・新潟中越地震」に関して、緊急の決定がなされ義援金の拠出について地区より連絡が来ております。皆様方の暖かい御理解と御協力をお願い致します。本日皆様方をお願いいたしました義援金に加えて、ニコニコから追加をさせていただき送金したいと思います。

もう一つ悲しい知らせが入っております。台北城

中ロータリークラブの第2代会長の卓清波（シルク）さんが先週お亡くなりになりました。過日の姉妹クラブ更新の合同例会には奥様と御出席を頂き、しばらくぶりにお顔を拝見して参ったのですが、御病気には勝てず帰らぬ人になってしまいました。

シルクさんは当クラブとの友好クラブ締結、さらに姉妹クラブ締結に際し大きな功績を残され、いわば姉妹クラブの生みの親と言ってもよい人でありました。誠に残念でなりません、ここで皆さんと黙祷を捧げたいと思います。御起立をお願い致します。黙祷！……………！



さて、先週の土曜日に地区の米山奨学生のカウンセラーセミナーに私と大谷財団委員長とで行って参りました。奨学基金も年々少なくなる現象があり、来年の4月以降の奨学金については今フランチェスカさん、グエン君にお渡ししている学部生への12万円が10万円に又修士・博士課程の大学院生に対する15万円が14万円に年間1000人の奨学生が800人に減少されてしまいます。米山奨学基金には普通寄付と特別寄付の2種類あり、普通寄付はクラブから一人当たり年間で4000円を送っております。又特別寄付は一人10万円として、今年は清水治雄会員、長谷川和男会員、島崎政敏幹事、それに私が寄付をさせていただきました。日本に留学している海外からの学生の支援は将来の日本のあり方にも大きな影響を及ぼすと思われまます。ぜひ皆さんの御支援をお願いしたいと言う事でありまますので、宜しくお願い致します。

1ヶ月4千円の節約をすると、2年間で9万6千円になります。2年から3年に1回を目標にやっていただければと思いますので宜しくお願い致します。
(次頁へつづく)

一昨日、白河に交換卓話に行きまして参りました。前回に白河から田代職業奉仕委員長に卓話を頂いたので、此方からも古沢勇治職業奉仕委員長に卓話をお願いいたしました。大変素晴らしい卓話で、白河の皆さんが大きな感動を致しておりました。この日のために色々準備をなさっており、私も大変感銘を受けて参りました。行田の皆様にも機会を見つけてお話を頂ければと思います。

又、今日は5クラブの合同ゴルフコンペが昼間行われました。詳しくは田山委員長から報告があると思いますので割愛させていただきますが、今年からはじめました5クラブ対抗ドライビングコンテストで当クラブの小沢瑛会員が見事279ヤードのドライバーショットで優勝致しました。おめでとうございます。

さて今日は増淵先生の3回シリーズの最後のお話を伺う事になっております。武蔵水路の事に関してのお話と伺っております。皆様方の御静聴をお願い致します。

幹事報告 島崎政敏 幹事



①結婚祝パーティのお礼

21日の晩、前期結婚祝の会がイズムさんで開催されました。わたしも夫婦で参加させて頂きましたが、大変結構なピアノの演奏も聞くことが出来、とてもよいパーティでした。後期も親睦委員会のほうでよい企画をしてくれるものと思いますのでどうぞご期待ください。

②11月の予定

- 4日(木) 11時より定例理事会、12時30分より例会です。大久保会員の卓話「相続について」があります。
- 11日(木) 日帰り旅行
- 16日(火) 3クラブ合同例会、今回のホストは行田さくらRCで、会場はクラブハウスです。出欠のお返事をお願いします。
- 18日は振り替え休会となります。
- 25日(木) 夜間例会、ふじみ鮎さんと6時30分開会です。

委員会報告



ゴルフ委員会 田山委員長

本日5クラブのゴルフコンペが行われ、当行田RCが団体戦で優勝、ドライビングコンテストで小沢瑛会員が優勝しました。団体戦優勝賞金5万円の中から2万5千円を新潟中越地震水害の被害者救済支援資金として寄付させていただきます。

5クラブゴルフコンペが成功裡に終了しました事、御礼申し上げます。



常日頃お世話になっている、ものづくり大学の増淵助教の「次世代の環境を考える」講演卓話を拝聴に7名の会員とともに参加させて頂きましたので宜しく。

また、当さくらRC会員の田中利幸氏のチャリティコンサート(9月26日)に対し、行田RC会員の皆様の御協力を頂きました事、御礼を申し上げます。

尚、私事になりますが病氣入院治療に際し暖かい御見舞いを頂き御礼を申し上げます。御陰様で元気になる事ができ、ありがとうございました。

卓話 増淵ものづくり大学助教授

「次世代の環境を考える」

私の講演卓話も第1回目の「景観について」(景色と景観は違うという事)、第2回目「歴史を生かした町づくり」(横浜市を参考とした町づくり)と続き、今回第3回目(最終回)の「行田市において歴史をどのように生かした町づくりをしたら良いか」という事でお話を申し上げたいと思います。

私は外部(横浜市民)の人間で行田市の事は詳しく理解している訳ではありませんが、外部より見た行田市という見解もよろしいのではないかと思います。

行田市には水城公園や武蔵水路など水に係る施設が存在します。私たちが生活する現在の生活環境の中で水は大切な資源であります。水に対する著作物に「水戦争の世紀」(集英社新書)、「ウォーター世界水戦争」(共同通信社)、「地球の水が危ない」(岩波新書)などがあります。一読なされる事をおすすめ致します。

行田市の社会資本を考察する上で、

1. 地図から(平面的)
2. 古絵図、写真から(立体的)
3. 市史資料から
4. 環境景観から

の4点から分析していきたいと思っております。

1. 地図からの分析では江戸末期作成の「忍城の絵図」明治6年作成の「調整忍地図」明治17年作成の「迅速図」を参考にして考察すると水路が整備されている事、また八幡様通りの鍵形道路に行田市の特徴を見る事ができます。この3
(次頁へつづく)

枚の地図を重ねて見ますと忍城の水辺が年を経るごとに段階的に縮小されている事がわかり、残念な気持ちになります。

- 古絵図写真からの分析では忍商家スゴロクという物があり、このスゴロクの中に新町の森牛乳店、新町の金子徳右衛門（魚商金子屋）、下町の鈴木忠右衛門（酒屋雲龍製造元）等の商家が見られます。当時の行田において牛乳を製造し、愛飲者がおられたという事は財力があった事の証明にもなります。

当時の横浜では外国人が多く居住していたため外国人の飲み物として牛乳が愛飲されていました。また、当時は清酒というと京都を中心とする関西で製造されており、関東で製造する事は許可されていなかった。松平忠堯という殿様が桑名から忍城に移られた時に酒商を一緒に連れてこられたと思われる。当時、酒は高価な物であり酒屋が営業することが出来たということは行田の豊かさが感じられます。

明治43年と昭和41年に撮影された水害写真がありますが、町のいたる所が水没しており水害を考えた町づくりが重要である事が分かります。水は慎重に扱う事が大切です。

- 市史資料から分析しますと、古墳期には埼玉古墳があり江戸期には忍城がありました。明治初期には国策として日本の国に三大公園（奈良県の奈良公園、大阪府の住吉公園、行田の忍城公園）をつくる計画が決められました。この計画がなかなか実行されませんでしたので昭和期の馬場秀夫行田市長の時に国に対して公園を造営する旨を申し立てて今の水城公園が出来た事になりました。当初の計画では今の公園の3倍以上の規模を有するものでしたが、諸般の事情により今の規模の公園となりました。

明治5年の学制発布にあたっては、忍進修館（松平忠堯が桑名より忍に移された）で勉強をした人たちが教育者となられたので、男子生徒6割、女子生徒4割の就学生徒がいる教育レベルの高さが理解できます。また、足袋製造が当時の町の基幹産業であり、足袋を輸送する道路、馬車鉄道が整備され足袋製造業者のために忍商業銀行（後の埼玉銀行）が設立されて町の繁栄ぶりが理解できます。

昭和期になり東京都の水不足が深刻な社会問題となり、その解決手段として行田市、吹上町、鴻巣市の二市一町に亘る全長14.5km毎秒30t流水量の武蔵水路が作られる事になりました。1994年に利根川水系に於ける水資源開発基本計画の一部変更が国会に於いて可決されて、武蔵水路改修計画が提起される事になりました。

- 環境景観から分析しますと将来の行田市の町づくりは歴史を生かした（特に埼玉古墳、水城公園、武蔵水路を中心に据えた）ものでなくてはならず、武蔵水路改修を良い機会と捉えて推進していく事が肝要と思われます。武蔵水路は東京都の水不足解消策として早急に創設されたため欠陥箇所も多く、いつ改修工事を着工してもおかしくない状態にあります。その時に国や東京都の作成した改修案でなくして行田市民の要望を取り入れたものでなければなりません。



行田私案というべき代案を作成しておく事が大切です。そこで提起したい問題点の1つとして武蔵水路の水深位置の決定があります。散歩する人に圧迫感を感じさせない水深位置、船が通れるような水深位置など考慮する必要があると思います。

私の勤務する、ものづくり大学の研究室においてスポンサーとの提携によりCG動画による武蔵水路改修計画（放映時間5分位）を作成してみました。水路関係に於けるCG動画は日本初と自負を持っております。次世代の環境問題を考える上で水は財産であり河川との豊かな付き合い、自然空間を活用した演出が重要であります。

スローライフ社会を迎えるにあたり、利根川、武蔵水路、荒川の河川敷を利用した、首都圏の信号のないノンストップの散歩道、サイクリング道（全長100km）をつくり、その中間点として行田市にある温泉宿泊設備を活用する事も町の活性化の一助になると思います。

行田市の町づくりに対しては、ものづくり大学も私も一層の協力を惜しまない所存であります。行田RCの皆様方も色々な面に於いて活動の程をご期待いたしております。

都合3回に及ぶ私の講演をお聞き頂き、ありがとうございました。

米山奨学生ゲンハー君に 黒淵会長より奨学金が授与される。



